HSC(ひといちばい敏感な子)の理解と支援

R 4. 1 1. 1 2. 東京六稜倶楽部 真生会富山病院心療内科 明橋大二 ・HSC:Highly Sensitive Child (ひといちばい敏感な子)

・HSP:Highly Sensitive Person (ひといちばい敏感な人)

●体が刺激に敏感



●ささいな変化によく気がつく



● まぶしい光、騒音、臭いにおいには簡単にノックアウト



● 空気が悪いのが苦手



●痛いのが苦手



●すぐ驚く

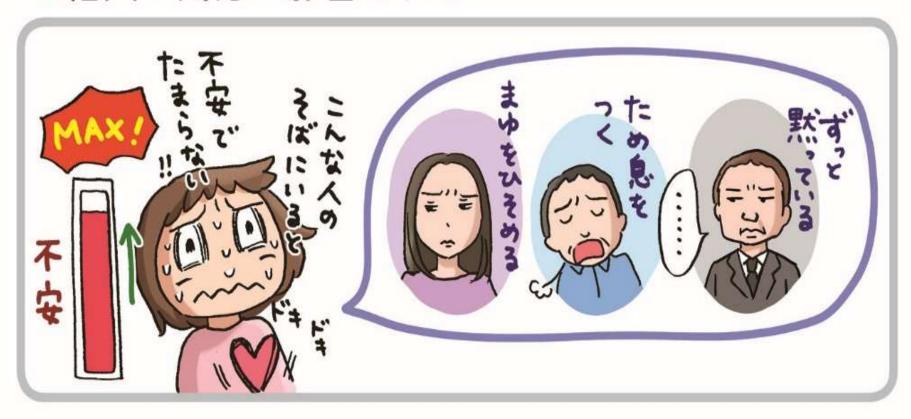








●他人の気分に影響される



●ものすごく人に気を遣う



●よく気がつく



●弱い者には優しい



●豊かで複雑な内面世界を持っている



●芸術や自然に深く感動する



●変化が苦手



1. 育て方でなるのではありません。 持って生まれた性格です。

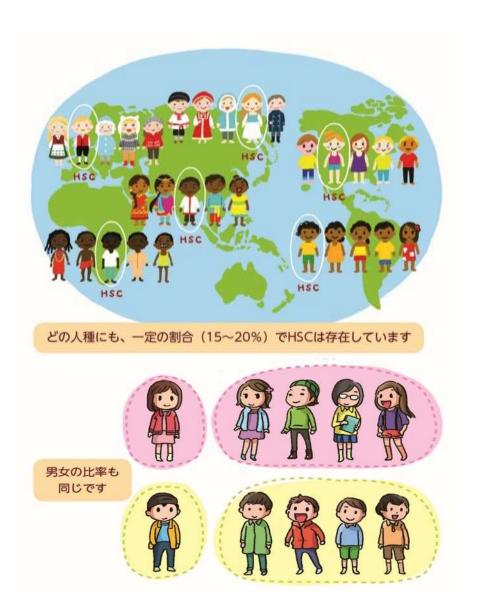




 病気や障がいではありません。 持って生まれた性格です。 ですから、「治す」ものではありません。 りません。 その子らしさを生かし、伸ばしていくのが、 HSCの子育てです。

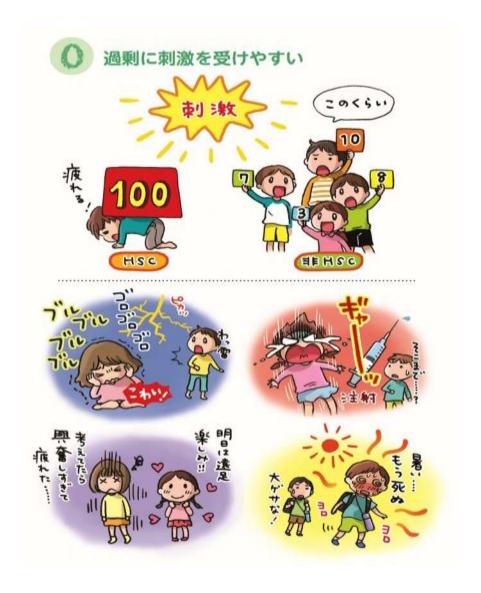


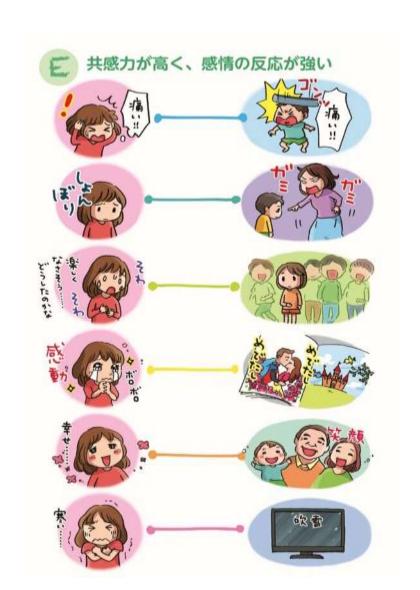
3. HSCの割合は、15%~20%5人に1人の割合です。人種で差はなく、男女の比率も同じです。



 4. HSCは発達障がい(自閉スペクトラム症) とは違います。
 感覚的に敏感なところは似ていますが、
 人の気持ちを汲むことが得意か苦手か、
 が異なります。









HSCには刺激を求める タイプの子もいる

HSS: High-Sensation Seeking (刺激探求型)

- ・持って生まれた性格
- ・HSCとは独立した、別の特性

HSCとHSS





HSCには育てにくいタイプの子もいます

- ・感情反応の強い子、HSSの子
- ちょっとしたことで傷つき、 おおげさに騒ぐ。 被害妄想が強い。 かんしゃくが強い。 文句が多い。 落ち込みが激しい。
- 「実は傷ついているのかも」と 考えてみる。



★育てにくい子は長い目で見れば、心配のない子です。

ニューロダイバーシティについて

- ・「神経多様性」という。
- 「生物多様性」と同じように、神経の発達にも 多様性がある。多様な種が存在することに 意味がある。
- ・自閉スペクトラム症、ADHD、HSC、あるいは 定型発達、さまざまな違いがあるが、それぞれ に役割があり、そこには、病気であるとかない とか障がいであるとかないとかの区別はない。 単なる「違い」「多様性」である。

- 「甘やかすから、わがままになる」のではありません。
 親の関わり方は、子どもの状態の「原因」ではなく「結果」かも知れない。
- ★それを「親の関わり方が原因だ」と誤解しないようにしましょう。

2. 自己肯定感を育てる

勉強 (6歳~) しつけ (3~6歳)

自己肯定感 (0~3歳)

私は存在価値がある必要な存在大切な人間生きてていいんだ私は私でいいんだ

自分なんて存在価値ない いらない人間 いない方がマシ

・HSCが自己肯定感を持ちにくい4つの理由

1) しつけの影響を 受けやすい →フォローの言葉も 必ず添えて



・HSCが自己肯定感を持ちにくい4つの理由

2) 自分に厳しい

→いいところをみつけて ほめる



・HSCが自己肯定感を持ちにくい4つの理由

3)手のかからない、 いい子になりやすい

→感情を出してきた時 こそしっかり傾聴。



・HSCが自己肯定感を持ちにくい4つの理由

4)集団生活が苦手

→人と同じことを 無理強いしない。

1. 子どもを信じる



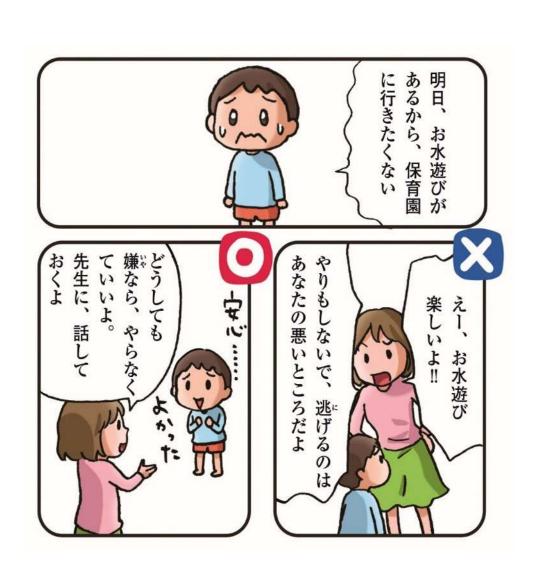
2. 共感する



3. スモールステップ を設定する



4. 心の安全基地 を作っておく



その子のペース
を尊重する



6. 少し背中を押してみる

親の自己肯定感も大事

1. 境界線を引く



親の自己肯定感も大事

自分のことをほめてくれる人を、
 一人は持つ。

親の自己肯定感も大事

自分を自分で
 ほめる練習。
 (リフレーミング)

